



リバーブを再設計

Dear Reality が EXOVERB をリリース。ステレオサウンド制作の空間聴覚に新たな次元を追加

2022年11月 デュッセルドルフ（日本語プレスリリース 2023年配信） – Dear Reality はまったく新しいリバーブプラグイン EXOVERB をリリースしました。ステレオサウンド制作に前代未聞の3次元の奥行と幅をもたらすリバーブプラグインです。ごく自然なリバーブをミックスに追加できる EXOVERB は、独自のリバーブエンジンと空間的マルチレイヤーIRにより、50種類のリアルなアコースティックシーンを提供。空間聴覚の原理を生かすことで、空間的距離認識を高度に制御してステレオミックスを仕上げるため、より多くの楽器のサウンドを組み込むことができます。

EXOVERB は、4つのカテゴリ（アンビエンス、ルーム、ホール、プレート）に50種類のアコースティックシーンを提供。いずれも、現代的な音楽制作に合わせて完璧にハンドチューンされています。各プリセットの基盤となるのが、Dear Reality 独自のソフトウェアと没入型オーディオに関する専門知識を活用して開発された、マルチレイヤーインパルス応答（IR）。Dear Reality の共同 CEO を務める Achim Fell は次のように説明しています。「空間オーディオ技術は、サウンドそのものとリスナーの没入感に新たな遠近感を追加するものです。ステレオ環境でもリアルな奥行を適切に加えることで没入型の音場を作れるのですが、

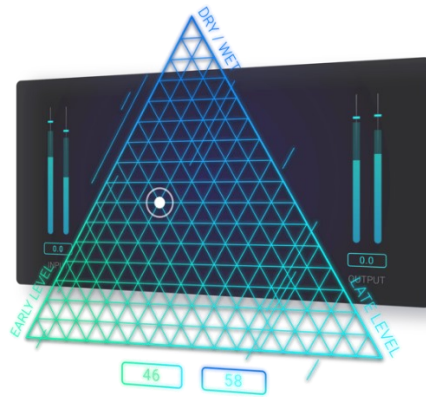
このアプローチはこれまで見過ごされがちでした。EXOVERB は、当社の空間オーディオ技術の原則を、当社初の純粋なステレオリバーブプラグインに応用し、ステレオ環境での没入型サウンド制作を実現するものです」



EXOVERB のユーザーインターフェース

Dear Reality の哲学である「簡単操作」に則り、EXOVERB は直感的なユーザーインターフェースを特長とし、個々のミックスにリバーブを完璧に適合させることが可能です。革新的なトライアングルパッドを使ってリバーブやアーリーリフレクション、ドライシグナルを完璧にブレンドでき、X 軸でアーリーリフレクションとレイトリバーブの比率を、Y 軸でドライ／ウェットシグナルのレベルをそれぞれ選択できます。さらに EXOVERB では、プリディレイやサイズ、デイケイ、幅といったよく使われるパラメーターをダイレクトに調整でき、他のリバーブツールのようにサブメニューを開く必要がありません。

クリエイティブなミキシングプロセスをスピードアップ：
革新的なトライアングルパッドでスイートスポットを直感的に選択



EXOVERB は、デフォルトで自然な空間分離のくっきりとした奥行感を提供。奥行パラメーターを使ってミックスの前後空間をさらに調整すれば、奥行感を一層高めることができます。

Dear Reality 独自のリバーブエンジンと空間的マルチレイヤーIRにより、2D ステレオサウンドを超越



Dear Reality のプロダクトオーナーを務める Felix Lau は「聴覚の認知は、空間内での位置と密接につながっています。空間内でサウンドがどこに位置するか、聴き手の脳がその位置をいかに認知・再生するか、この関係性のおもしろさに惹かれて、私は空間オーディオの開発に携わるようになりました。EXOVERB は、ステレオ環境でこの空間的関係性を追求することを可能にします」と説明します。



マルチトラックレコーディングとリアルなリバーブを容易に統合

さらに EXOVERB は、3つのイコライザーでアーリーリフレクション、ディケイ、サムシグナルを調整。3バンド EQ はローシェルフ、パラメトリック、ハイシェルフで構成され、ミックスに最適なリバーブを設定できます。



3つの多彩な3バンドEQで、極めて柔軟なトーン調整を実現

EXOVERB は現在、[Dear Reality ストア](#)から直接ご購入いただけます。

なお、Dear Reality 製品はゼンハイザージャパンのサポート対象外です。Dear Reality のお問い合わせは Dear Reality ウェブサイトにて「[Support](#)」のフォームから直接英語でお問い合わせ頂けます。



製品紹介動画は[こちら](#)でご視聴いただけます。

Dear Reality について

Dear Reality は、没入型オーディオコントローラー分野のトップメーカーで、100%リアルなルームバーチャライゼーションを実現するバイノーラル、Ambisonics、マルチチャンネルエンコーダー関連の製品が特によく知られています。製品は世界中のサウンドエンジニア、サウンドデザイナー、放送局、ミュージシャンに愛用されています。2014年にAchim FellとChristian Sanderが、インタラクティブかつリニアなオーディオ制作のための高品質・最先端3Dオーディオソフトウェアの開発を目指して創業。2019年より、Sennheiser Groupの傘下に入りました。

当プレスリリースに関するお問い合わせ

ゼンハイザージャパン株式会社

永富

teruishi.nagatomi@sennheiser.com

+81 364068911

ゼンハイザージャパン PR 事務局

中村

sennheiser@pjbc.co.jp

+81 345809156